

□に□□せよ。

□□□が□□される□、

□□□が□□される□には、

□からの□□な□がすべてを□たしていた。

そして□□な□□はなかった。

すなわち□□、□□や□などというものはなく、

すべてがその□□で□□な□に□まれていた。

また、□や□といったような□□はなく、

すべては□□で□らかで□□な□であった。

それは□□の□と□ばれる。

そして□の□□により、

□□を□□することを□□され、

□□□を□□した。

□の□□な□□と□と□□を□□するため、

これが□□の□□のはじまりであった。

その□、□はその□ん□でご□□を□□された。

まさに□□□で□は□を□□し、

□は□□□のまわりの□□へと□くに□いた。

そして□□□のまわりに□□な□□、□□が□された。

そして□□な□のまわりの□□は□□であった。

そのまわりの□□が□□の□になるように。

□□の□、そこで、

□□と□□が□□されたのち、

□□の□のまさに□ん□に、ある□□が□□された。

□□の□から□□、□にある□の□□の□から□へまっすぐ□かれた。

それは□々にその□□な□□□は□□に□びていった。

□□の□から□かれたその□は□□で□につながり、

□□は□□の□にはつながっていなかった。

□はその□を□□に□ばし、その□□に□□□□を□□し、□□し、□□り、そして□□された。

□つの□□の□□□□には、ただ□□の□があるのだった。

「□がすべてであり、その□がすべて」であった。

□□□な□□をもったその□□□の□は、

□の□□にいた□□でさえ、□□するには□□が□ばないものであった。

□□はその□□で□□な□が□であるとは□□できなかった。

□を□□するたの□□は□□され□なかった。

それは□は□すると□□にどこにも□せず、□□で、□を□たないからである。